

蒲原健康祭り 450人参加

大道芸・歌声・詩吟・民謡・フラダンス・シャンソン 大抽選会で盛り上がる

去る10月27日(日)「第33回蒲原健康まつり」が蒲原診療所ビルを会場に開催されました。開会は尾崎哲



こもれびのみなさんと会場が一体化する

も実行委員長のあいさつに始まり、渡辺友の会支部長、はたの区議が来賓のあいさつを行いました。診療所の外の駐車場は受付、青空健康チェック、おもちゃの病院、包丁研ぎのコーナーとバザー会場です。前日夕、友の会員の畑から取ってきたばかりの香の強いネギや野菜の販売、焼きソバ、豚汁、ご飯類、手芸品、日用雑貨まで幅広く店開きし、買い物を楽しみむ人で混み合いました。この物品販売には蒲原診療所グループの蒲原歯科診療所、か

ばらデイサービスセンター、東あやせ薬局のそれぞれが職場が趣向をこらせて参加。地域の団体では新婦人の会、山恵園のみなさんのご協力がありました。診療所1階の待合室は演芸会場に早代わりです。大道芸の桜遊会の皆さんによる南京玉すだれでスタートを切り、歌声サークル「こもれび」のみなさんによる懐かしい歌の合唱、日頃、鍛えた詩吟・民謡の披露と続きます。そして演芸の舞台の後半は乙女姿の新婦人有志による手話付きのフラダンス、全身を飾る衣装とダンスのリズムがよく似合い

ます。そして「愛と平和」を歌うシャンソンが会場を魅了して止みません。舞台の袖で見ている皆さんの表情が明るく、元気に輝いているのが良かった」と感想を述べてくれました。また、地域の皆さんから好評を頂いている「包丁研ぎ」も東京土建瀬瀬分会有志の皆さんのご協力で150本以上を研ぎ上げ、大変喜ばれました。健康まつりの最後は豪華景品(外れなし)が当たる抽選会です。会場を埋め尽くした参加者が、当たりが出る度に喜んだり、ため息をついたり健康まつりを締めくくりました。報告 かばら役員会

歯科衛生士 緊急募集中

ご紹介ください 蒲原歯科診療所

現在、東都協議会歯科部歯科衛生士の人員不足状態が続いています。今年度緊急の採用募集で非常勤2名が採用に至りませんが、まだまだ歯科衛生士不足です。現在は歯科院所相互支援体制で診療を行っていますが、やはり歯科衛生士不足の影響で蒲原歯科診療所、みさと健和歯科で患者さんが大幅に減少しました。できる限りの良いサービスをより多くの方に提供したいという思いで職員一同努力をしていますが、なかなか問題の解決には至りません。毎年歯科衛生士学校には就職説明会にも参加しながら採用募集を続けていますが非常に厳しい状況です。東都協議会歯科部としては来年度採用募集の前に緊急対応として、「歯科衛生士募集ポスター」を作成しました。協議会院所全体へは「歯科衛生士募集ポスター」の掲示をお願いいたします。また、友の会の皆さんの知人の中に歯科衛生士がいまいたらぜひ、ご紹介下さい。



2019年10月29日
蒲原歯科診療所
事務長 佐藤 祐二

全国で仲間増やし活動

全国の民医連の事業所で友の会の会員を増やす活動を行っています。安倍内閣の医療・介護を悪くする攻撃を止めるために会員を増やしたいと思えます。家族・知人をご紹介下さい。



役員会
玄関前で
宣伝活動

**「蒲原健康講座」 第3課
「お口の体操で美味しい食生活」
歯や口腔内が健康なほど寿命も長くなる**
35人参加

10月30日（水）蒲原歯科診療所の山本世津子先生が担当した「お口の体操で美味しい食生活」と題した健康講座が開かれました。

人間が歯を失う原因は歯周病やむし歯だと言われています。なんでも咬んで食べるのが出来る人、つまり歯が残っている人ほど元気で、反対に入れ歯も歯もない高齢者は元気がなく寝たきりが多いということをお話していただきました。そして歯や口腔内が健康なほど

寿命も長くなるということも分かりました。

- ① 歯を悪くさせるのは
 - ② 喫煙
 - ③ かみ合わせ
 - ④ 力の負担
 - ⑤ 骨粗しょう症
 - ⑥ 糖尿病
 - ⑦ 口腔の乾燥
- 唾液がでないことなどが上げられます。

これらのことが改善されると唾液が出て良くかむことができ、消化吸収がよくなるそうです。これからは唾液腺のマッサージ、いろいろな口の体操など学んだことを生かし、快適な食生活を送りたいと思います。

報告 久保田 憲一



第3課 山本世津子先生

**憲法・いのち・社会保障まもる
10・17国民集会**

「憲法・いのち・社会保障まもる10・17国民集会」が日比谷野外音楽堂で開かれました。

この日、会場に掲げられた横断幕には「憲法改悪反対！軍事費より社会保障と災害復旧」と大書され、この集会の目的を物語っていました。



10・17国民集会

この日は、一人暮らしの高齢者では死活的問題になることもあり反対です。

安倍政権は2021年の介護保険法改定で、要介護1、2の生活援助サービスを給付対象から外すことなどをねらっています。給付外し

は一人暮らしの高齢者では死活的問題になることもあり反対です。

かばら支部から4人が参加。集会途中からの雨にも負けずパレードに参加し最後まで歩き通し、沿道の市民に訴えました。

友の会の皆さん、急いで多くの人を訴えて無罪要請署名を集めて裁判所に提出したいと思います。ご協力をお願いします。

かばら役員会

安倍改憲は国に従わせるもので反対

去る10月18日（金）北千住の「天空劇場」で元文部科学省事務次官・前川喜平氏による「教育と憲法 私たちの未来」と題する講演会が開かれました。

この集会では冒頭に「千住 憲法群読の会」による、群読「日本国憲法前文・第9条」の文化行事が披露され、柳原病院院長の石川先生始め、顔見知りの足立健康友の会の会員が力強く「日本国憲法前文・第9条」を読み上げました。これは安倍首相による「改憲を許さない」の気持ちを会場全体で確認する良い企画でした。



講演する前川喜平氏

前川氏は講演の中で日本国憲法の価値観は「個人の尊厳」を基調としているが、安倍首相の改憲案はすべて国が優先で個人に従わせるものになっている、と指摘。国民を序列化し、国に役立つ役割を期待しないか、差別も当然と言う姿勢を持っている、日本国憲法は改める必要のある部分もあるが、今の安倍首相の元では改憲に手を付けるべきではないと強調し、会場のあちこちから同意のうなずきが波打

**乳腺外科医師えん罪事件
医療行為が犯罪になりかねません
外科医師は無実です。署名をお願いします**

乳腺外科医師えん罪事件は、2019年2月20日、東京地裁で無罪判決を勝ち取ることができました。しかし検察が控訴し現在は東京高裁で期日前協議を行っています。検察の控訴は外科医師ばかりでなく女性患者をも苦しめる全く道理の通らないものです。医療行為が犯罪になりかねない極めて許すことが出来ない事件です。裁判官は

検察が要求もしていない術後せん妄の権威者に鑑定を出しなさいと1審判決を覆すことを狙った訴訟指揮を行っています。公判は2月から3月にかけて2回程度開き結審になりそうな危険な状態です。

外科医師は無罪です。原告女性が訴える「わいせつ行為」は術後せん妄時に起きる幻覚であり無罪です。